

# 令和2年度 石巻地区中学校新人大会（サッカー競技）実施要項(抜粋)

- 1 目的 この大会は、中学校教育の一環として中学校生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とアマチュアスポーツの精神の高揚を図り、心身ともに健康な中学生を育成するとともに、石巻地区の中学校生徒相互の親睦を図るものである。
- 2 主催 石巻地区中学校体育連盟
- 3 共催 石巻市教育委員会 女川町教育委員会 東松島市教育委員会
- 4 後援 石巻地区中学校長会 石巻地域体育協会連絡協議会  
県高等学校体育連盟石巻支部 石巻日日新聞 三陸河北新報社
- 5 期 日 1日目 令和2年9月 26日（土）予選リーグ（9試合）  
2日目 令和2年9月 27日（日）決勝トーナメント（6試合）  
予備日 令和2年9月 28日（月） 令和元年9月29日（火）
- 6 会 場 セイホクパーク石巻市総合運動公園 フットボール場・ふれあいグラウンド
- 7 大会役員
- |      |               |      |             |
|------|---------------|------|-------------|
| 部会長  | 千葉 正人（門脇中校長）  | 技 術  | 小野寺 翼（住吉中）  |
| 副部会長 | 千葉 幹雄（渡波中校長）  | 競技役員 | 相澤 幸恵（蛇田中）  |
| 副部会長 | 色川 洋二（矢本二中教頭） |      | 菊地 弘順（青葉中）  |
| 委員長  | 谷口 正樹（矢本一中）   |      | 福岡 梓（青葉中）   |
| 副委員長 | 新妻 景也（蛇田中）    |      | 小泉 拓夢（渡波中）  |
| 審判長  | 久保 繁（矢本一中）    |      | 菅原 尚紀（河南東中） |
| 会 計  | 佐竹 悠希（河南東中）   |      | 及川 育美（女川中）  |
| 記録表彰 | 曾根田啓太（鳴瀬未来中）  |      | 神田 優樹（女川中）  |
| 表 示  | 阿部 駿（矢本二中）    |      | 今野 大樹（住吉中）  |
- 8 審判員 石巻サッカー協会審判部・各チーム審判員（有資格者）
- 9 競技規則 日本サッカー協会競技規則（最新版）及び中体連サッカー競技規則部内規定による。
- 10 大会規則
- (1) 競技方法
- ① 対戦方式
- ・ 1日目は出場9チームが2ブロックに分かれて「予選リーグ」を行う。（※コロナ対策・・・本来は3ブロックだが、待ち時間が長くなること、会場使用時間も長くなることから2ブロックで）

- ・ 各ブロック3位までのチームは予選通過。aブロック4位，bブロック4位，5位の3チームの中で上位2チームが追加チームとして決勝トーナメントに進出する。
- ・ 2日目は「決勝トーナメント戦」を行い、各ブロック優勝，準優勝を決定する。各ブロックの優勝チームが県大会出場権を得る。

## ② 試合時間

- ・ 全ての試合を50分間（25分ハーフ，インターバル5分）で行う。
- ・ 予選リーグにおいて勝敗が決しない場合は，引き分けとする。
- ・ 決勝トーナメントにおいて勝敗が決しない場合は，10分間（5分ハーフ）の延長戦を行う。それでも決しない場合は，PK戦を行う。

## ③ 予選ブロック代表及び追加チームの決め方

- ・ 「勝ち点（勝ち＝3，引き分け＝1，負け＝0）」によって決める。
- ・ 勝ち点と同じ場合は「直接対決の結果」で決める。
- ・ 直接対決が引き分けだった場合，または対戦していない場合は「得失点差」で決める。
- ・ それでも決しない場合は「総得点」で決める。
- ・ それでも決しない場合はフェアプレーポイントで決める。イエローカードは－1，イエローカード2枚での退場は－3，一発レッドカードは－4として計算。
- ・ それでも決しない場合は抽選で決める。（※コロナ対策・・・自分たちの試合が終了したチームはすぐに帰る）

## ④ メンバー用紙

- ・ 各チームは競技開始20分前までに本部に「メンバー用紙」を提出すること。

## ⑤ 選手交替

- ・ メンバー用紙に登録された選手7名の再交替を認める。
- ・ 試合前にユニフォームのチェックを受けた交代要員は，交代する旨を本部に申し出ること。

## ⑥ 退場・警告

- ・ 本大会において「退場」を命じられた選手は，次の1試合に出場できない。
- ・ 本大会において2度「警告」を受けた選手は，次の1試合に出場できない。
- ・ 退場については，専門部規律委員会でその後の対応を検討する。
- ・ 所属チームの最終試合において，その大会中「2度目の警告を受けた選手」と「退場を命じられた選手」は，次の大会の所属チームの初戦1試合に出場できない。

## ⑦ 競技中の給水 飲水タイム

- ・ 「飲水タイム」を必ず設ける。（コロナ対策・・・ボトルの共用はしないこと。）

## ⑧ 使用球・服装など

- ・ 日本サッカー協会検定5号ボールを使用する。（中体連ボール使用）
- ・ ユニフォーム（シャツ・ショーツ・ストッキング：以後ユニフォームという）は原則として，日本サッカー協会ユニフォーム規定に従うものとする。
- ・ ユニフォーム（シャツ）にはチーム名を入れる。

- ・ユニフォームは、登録選手全員分のシャツ、ショーツ、ストッキングのそれぞれが、メーカーやマーク等の規格が統一されたものとする。
- ・ユニフォームの番号は選手登録書に記載された選手固有の番号（1～99番）とする。
- ・ユニフォームは、正の他に副として正と異なる色のユニフォームを必ず用意すること。
- ・ゴールキーパーは、他のプレーヤーと色別できるものとする。
- ・金属類、眼鏡（安全なスポーツグラスは除く）、ギブス、装身具（ミサンガ、ネックレス、ヘアバンド(女子の髪留めは除く)）等を身に付けての出場は認めない。
- ・中学生らしくない髪型（染色、剃り、パーマ、異常なかりあげ等）の選手の出場は認めない。
- ・縞模様のユニフォームの番号は台布の上につけること。
- ・アンダーシャツとインナースパッツ（サーマルショーツ）は、それぞれシャツやショーツと同色のものとする。
- ・シャツの裾をパンツから出すことはルール違反ではなくなったが、教育的観点から、ユニフォームをきちんと着るように各チームで指導すること。
- ・ソックスに巻くテーピングは、ソックスと同色のものとする。
- ・審判との区別を明確にするため、黒や紺のユニフォームは使用しないこと。
- ・各チームのユニフォーム（4着）は、類似色とならないように留意すること。

## （2）登録人員

- ・監督（学校長・教職員）1名、コーチ（外部コーチ・教職員）1名、役員（教職員）1名、選手18名の、計21名以内とする。但し、合同チームにおいてはこの限りではない。
- ・登録人員の変更は、各チームの大会初戦の開始20分前までに行い、それ以降については認めない。第1試合の「メンバー提出用紙」に記載されたもので最終登録人員とする。

## （3）表彰

- ・各ブロック優勝以下第2位までのチーム・選手に賞状を授与する。
- ・各ブロック優勝チームには優勝杯（次年度まで保持）を授与する。

## （4）県大会出場枠 2チーム

- ・県大会の詳細については、後日、宮城県中体連HPに掲載予定。

## （5）申し込み方法

- ・「選手登録書（申込書）」と「外部コーチ任命承認願（必要なチームのみ）」（どちらも職印あり）を、大会初日の顧問会の際に提出すること。

## （6）その他の申し合わせ事項

- ・新人大会において決勝に進出したチームには春季大会のシード権を与える。（シード権は放棄できない。）優勝・・・1または5 準優勝・・・4または7、8（来年度も2ブロックの場合。3ブロックに戻す場合も同様に。）
- ・サッカー競技規則第3条より、選手は7名以上で参加申し込みを行うこと。

サッカー競技規則 第3条 競技者の数

「試合は、11人以下の競技者からなる2つのチームによって行われる。各チームの競技

者のうちの1人はゴールキーパーである。いずれかのチームが7人未満の場合、試合は開始されない。」

- 各チームのGKの登録人員のみ、ゴール裏サイドでのアップを認める。ただし、ボールがコートに入ることが絶対にないようにすること。GK以外の選手はコンクリートの上でのアップとする。
- 2日目のみ、試合開始30分前から15分前までのピッチ内アップを認める。
  - ベンチは、本部からフィールドに向かって左側を番号の若いチームのものとする。
  - ベンチには「登録人員」以外は入ることができない。
  - 2日間とも8:00から大会本部にて顧問会を行う。
  - 会場準備について、1試合目に当たっているチームが行う。
  - 顧問はチームの勝敗にかかわらず、学校事情が許す限り2日間ともに大会の運営に当たる。
  - 無観客試合とする。(コロナ対策)
    - 選手、役員、指導者以外は競技場に入らないこと。
    - ゴミは必ず持ち帰ること。ごみ箱は撤去すること。
  - 本大会中、いずれの場合においても、規定人数(サッカー競技規則 第3条 競技者の数)に満たない場合、試合は行われず、予選リーグにおいては相手チームへ無条件に勝ち点3が付与される。なお、試合開始後に規定人数(サッカー競技規則 第3条 競技者の数)に満たなくなった場合、そこまでのスコアとは関係なく、相手チームに3点の得点が付与され、自チームは0点となる。また、以降の試合においても上記の場合、同様の扱いとなり、予選ブロック代表権については以降のチームへ繰上げされ、2日目へは進出できない。

(7) コロナ対応について

- ベンチに入る選手は、間隔を十分に空けて座ること。
- ベンチに椅子などは置かない。芝生の上に直接座ること。
- 観客については無観客試合で実施する。各校の顧問は保護者への連絡を確実にし、保護者が応援に来ることがないようにすること。
- 試合開始・試合終了のセレモニーは握手無し。円陣も密集しないよう工夫して行うこと。
- ゴールを決めたときなどのハイタッチはなし。
- 待機場所は密にならないよう広くとること。更衣室を使うチームはドア、窓を常に開けておくこと。
- 試合に出場している選手のみマスクを外してもよい。それ以外は常にマスクを着用すること。
- 試合前と試合後、各チームは全員石鹸で手洗いを行う。
- 更衣室など使用した際は、各チームで責任を持って消毒作業を行うこと。
- 開会式と閉会式は実施しない。
- 第1試合のチーム以外は試合開始の1時間前を目安に会場に来ること。ただし顧問が一人しかおらず、審判などで早くこなければならぬ場合は特別に早く来ることを認める。
- 自分たちの試合が終わったチームは速やかに帰ること。ただし顧問が一人しかおらず、審判などで残らなければならぬ場合は特別に待機することを認める。密にならないよう十分気を付けること。